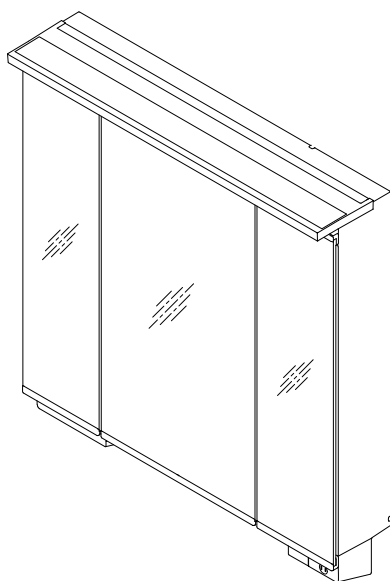




[メーカー管理用]

ミラーキャビネット クレヴィ・EV・R1シリーズ 奥行560タイプ

取付説明書



取付業者さまへ

取付けの際は、必ずこの説明書に沿って正しく取り付けてください。

- 説明書に記載されていない方法で取り付けられ、それが原因で故障を生じた場合は、商品保証の対象外となりますので十分ご注意ください。

同梱の取扱説明書は取付完了後、必ずお客さまにお渡しください。

- 水栓金具、電気温水器、即湯システムについては、それぞれに同梱の説明書に沿って正しく取り付けてください。
- 保証書(取扱説明書裏表紙)に貴店名、取付日を忘れずにご記入ください。

お客さまへ

- 掲載している取付説明は、専門知識を有する取付業者さま向けの内容です。
- 商品の取付時には危険が伴いますので、取付けは専門知識を有する取付業者にご依頼ください。
※取付業者さま以外による取付け・修理・分解に起因する不具合は、商品保証の免責事項です。

■ 取付けの流れ	2
付属品の確認	3
寸法図	4
安全上のご注意	5

取付けの流れ

■ 取付前の確認・準備	6
電源の確認	6
壁面の確認	7
化粧台の確認	8
取付前の準備	8

取付前の確認・準備

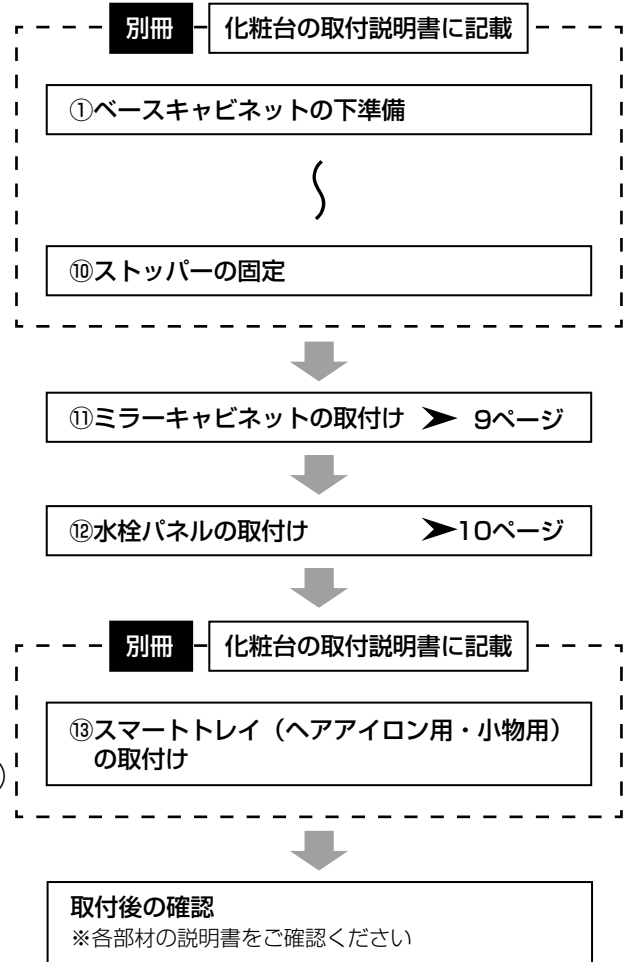
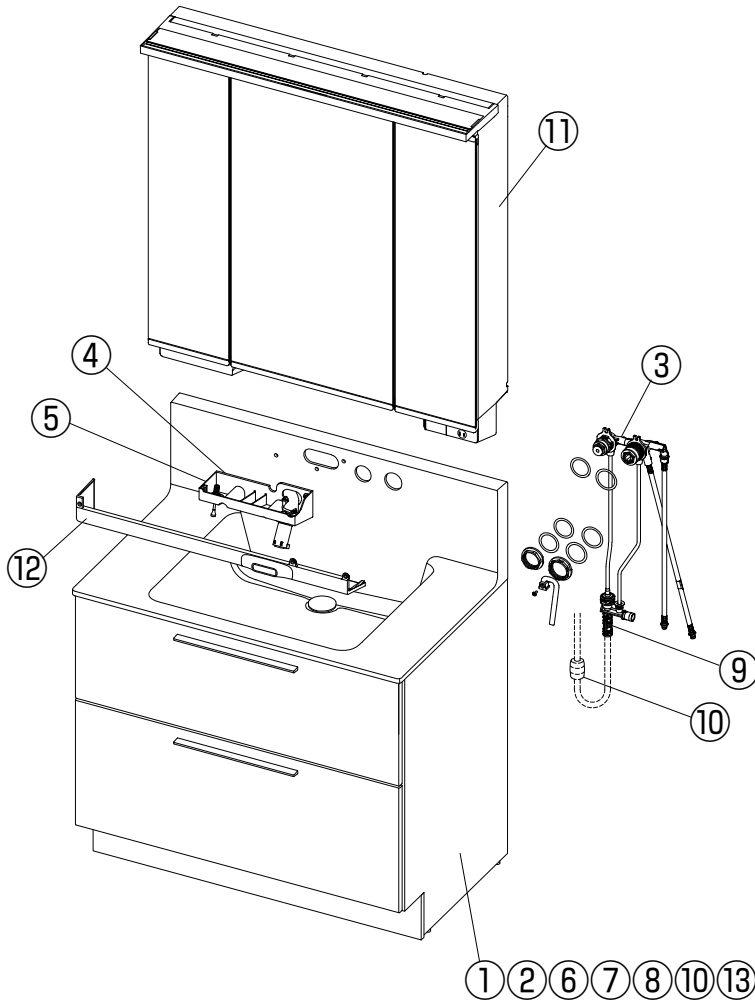
■ 取付方法	9
直結配線の方法	12
取付後の確認	14

取付方法

取付けの流れ

必ずこの手順を守って、それぞれの取付説明書をご確認ください。

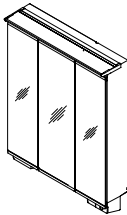
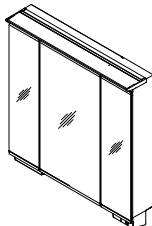



ミラーキャビネット ➤ 9ページ



付属品の確認

付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

ミラーキャビネット

部品名 イメージ 品番	 MRA-753TXEU(-G) MRA-753TXJU(-G) MEA-753TXJU(-G) MR1X1-753TXJU	 MRA-903TXEU(-G) MRA-903TXJU(-G) MEA-903TXJU(-G) MR1X1-903TXJU
本体固定ねじ (平頭φ4.5×60mm) 	各4個	各6個
化粧キャップ 		
リベット 	3本	

取付けの流れ

寸法図

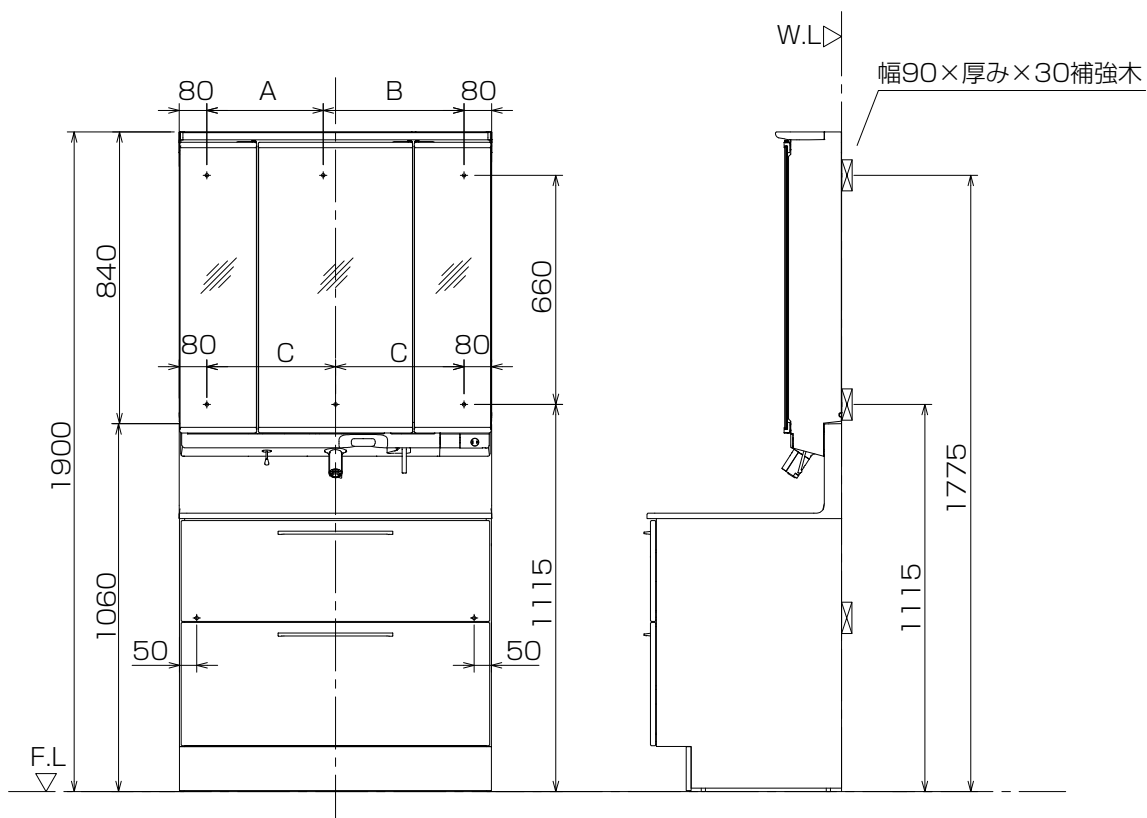
詳細寸法・固定位置は承認図をご確認ください。

(単位：mm)

ミラーキャビネット

MRA-753TXEU(-G)
 MRA-903TXEU(-G)
 MRA-753TXJU(-G)
 MRA-903TXJU(-G)
 MEA-753TXJU(-G)
 MEA-903TXJU(-G)
 MR1X1-753TXJU
 MR1X1-903TXJU






間口	A	B	C
750	-	-	-
900	335	405	370








安全上のご注意

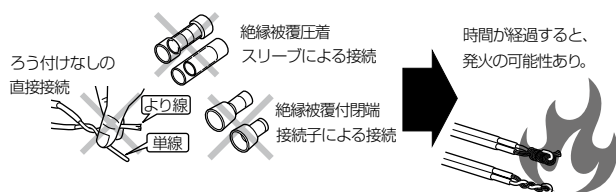
ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。作業前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。



用語および記号の説明

	警告 取付けを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
	注意 取付けを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
	「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)
	「分解してはいけません！」
	「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)


警告

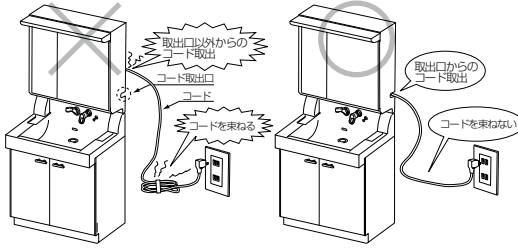
-  ● 電気工事は電気設備に関する技術基準、内線規程など関連する法令・規定に従って必ず電気工事士の資格を有する者、電気工事業の登録等をした業者が適切な方法で行う。
※ 無資格者の工事や電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電の原因になります。
-  ● 電気工事は必ず分電盤のブレーカーを切って行う。
※ 感電の恐れがあります。
-  ● 改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。
※ 火災、感電、ケガ、故障の恐れがあります。
-  ● 電源は必ず適正配線された交流100Vコンセントを単独で使用する。
※ 火災、感電、ケガ、故障の恐れがあります。
-  ● 標準タイプ(電源プラグ付コード仕様)のコード切断や取り外しをして直結接続をしない。
※ 不適切な接続は火災、漏電、故障の恐れがあります。
※ 標準タイプから電源プラグ付コードを取り外すと、渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。
※ 直結接続の場合は、必ず直結配線タイプの商品にて接続してください。





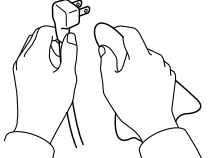
-  ● コードなど各配線を傷つけない。
※ 無理に曲げる・力を加える、束ねる、重いものを載せる、挟み込むなど傷つくと火災、漏電、故障の恐れがあります。
-  ● 電源は必ず専用の回路を設け、110V、15Aまたは、20Aの過電流遮断器の設置された回路と接続する。
※ 火災の恐れがあります。


警告

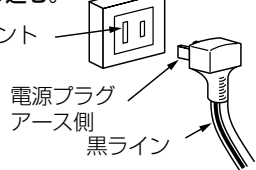
-  ● 電源プラグ付コードは、取付方法に記載された指定個所より取り出し、キャビネット本体と壁の間に挟み込まないようにする。
※ 鏡や扉のひずみなど商品に悪影響が生じる恐れがあります。
※ 挟み込まれたコードから火災、漏電、故障の恐れがあります。




-  ● 電源プラグを抜くときは必ずプラグ本体を持つ。
※ コード部分を引っ張るとプラグやコードが破損し、火災や感電の恐れがあります。
-  ● 電源プラグをコンセントに接続する際は、周辺のコリなどを取り除いて隙間がないように奥まで接続する。
※ ホコリなどがついていたりトラッキング現象による火災の恐れがあります。






-  ● 電源プラグは、アース側の刃(コードの黒ライン側)をコンセントの長穴に差し込む。
※ 逆向き接続は照明交換時に感電の恐れがあります。



-  ● 浴室内などの高温多湿な場所へは設置しない。
※ 感電や漏電の恐れがあります。

お願い

-  ● 直射日光やスポット照明、殺菌灯が直接当たる場所に設置しない。
※ 変色や変形の原因になります。
-  ● 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類を使用して、キャビネットを拭かない。
※ 変色や変形、ヒビ割れを起こす恐れがあります。
-  ● 壁面工事や建築仕上げ工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・テープ類・その他の薬品類は、容器などに記載の注意事項に従って使用する。
※ 人体への悪影響や使用部材の劣化、破損の原因になります。

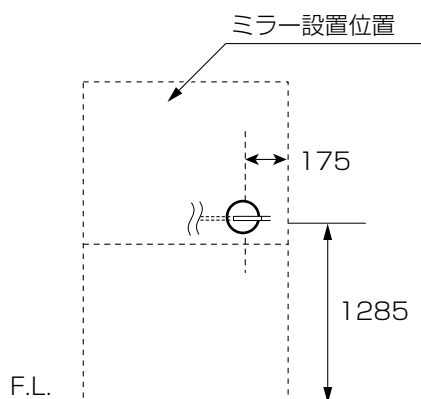
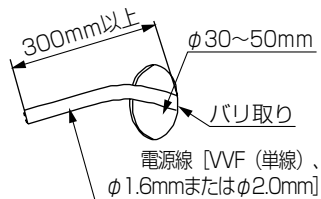
取付けの流れ

電源の確認

■ 直結配線タイプ(品番末尾「-G」の場合)

⚠ 警告

- 取付前にあらかじめ下記の所定位置に電源線[VVF(単線)、 ϕ 1.6mmまたは ϕ 2.0mm]が取り出していることを確認する。
※ 誤った配線工事は、火災・感電、故障の原因になります。
- 電源線の有効長さが300mm以上であることを確認する。
- 穴あけした端部のバリがとってあり、電源線を傷つけないような状態であることを確認する。
※ 火災・感電の恐れがあります。

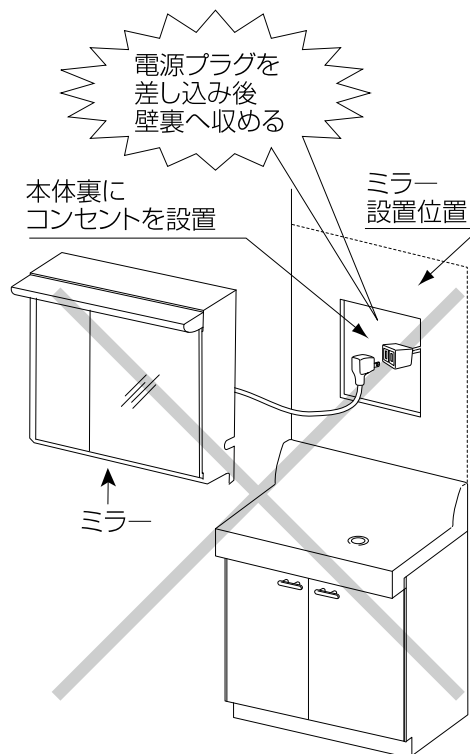


直結配線の穴位置

■ 標準タイプ(電源プラグ付コード仕様)

⚠ 警告

- 電源コンセントの位置は、プラグコードの届く範囲で、床面より高く水のかからない場所に設定する。
※ 誤った配線工事は、火災・感電、故障の原因になります。
- 電源コンセントの位置は、本体の裏面には設置しない。
※ 点検・確認ができない場所にコンセントを設けると、万一ホコリや湿気などでトラッキングが発生した場合に火災の恐れがあります。



壁面の確認

⚠ 警告

下記事項が守られていることを事前に確認し、取付けを行う。

守られていないと取付強度が保てず、キャビネットが落下してケガをする恐れがあります。誤った配線工事は、火災・感電、故障の原因になります。

- 下記「キャビネットを取付可能な壁面」の条件を満たさない壁には取り付けない。

※ 記載の条件を満たさない場合は、壁を施工し直してください。

壁の不陸が5mm / 2mを超える場合は、必ず壁を施工し直してください。

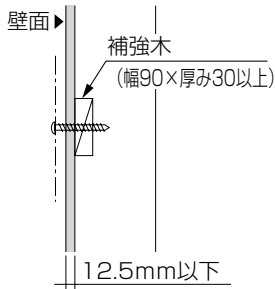
- 壁固定は指定のねじを、指定本数使用する。

■ キャビネットを取付可能な壁面

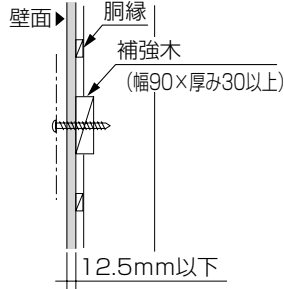
【乾式壁の場合】

- ・「ねじ固定位置」には必ず補強木(幅90mm x 厚み30mm以上)を設ける。
- ・補強木は必ず柱・間柱・縦桟木など建築躯体に固定する。補強木の固定は、キャビネットの固定強度と同等以上になるよう、種類・数を選定してください。
- ・壁固定ねじを補強木に届かせるため、壁仕上げの総厚さは12.5mm以下にする。

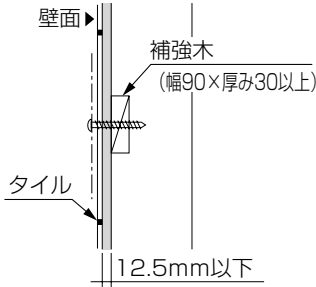
ボード類直張り



ボード類胴縁取付け



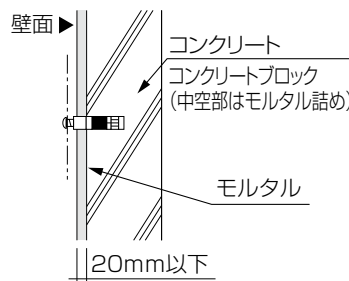
タイル仕上げ



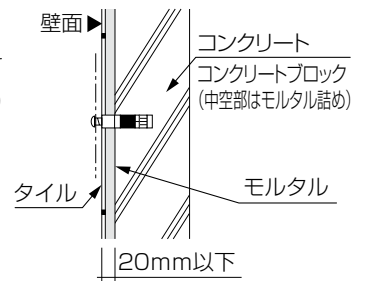
【湿式壁の場合】

- ・コンクリートブロック壁の場合、中空部はモルタル詰めする。
- ・壁固定ねじに合ったAYボルトを使用する。AYボルトを壁本体に届かせるため、壁仕上げの総厚さは20mm以下にしてください。参考：下記(別途手配)表

モルタル仕上げ



タイル仕上げ



【湿式壁の場合の取付方法】

- ・AYボルトの位置を確認し、壁に位置出しをする。
- ・固定位置にφ7.5mmの下穴をあけ、切粉をきれいに取り除く。下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
- ・AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取る。
- ・キャビネットを壁面に当て、ねじ穴からボルトで固定する。

(別途手配)

壁固定ねじの種類	AYボルト・プラグセット品番	セット内容
タッピンねじトラス	#KB-4X60T(AY)	M4X60mmトラス2本入り
タッピンねじなべワッシャー付	#KB-4X60WT(AY)	M4X60mm なべ 2本入り、ワッシャー2個入り
タッピンねじ化粧キャップ付または洗面化粧台固定用ねじ	#KB-4X60SC(AY)	化粧キャップ(白)、皿ワッシャー、M4X60mm 皿各2個入り
製品同梱ねじ使用	#MIL-T8	樹脂性プラグ2個入り
タッピンねじトラス	AY-24(1P)	M6X65mmトラス1本

※ AYボルト・プラグの種類、必要数はキャビネットにより異なります。

※ 化粧キャップ(黒)は、各キャビネットに付属のものを使用してください。(あるいは、#KC-6を別途手配)(取付穴7.5mm、深さ60mm以上)

- ・AYボルト取付穴：φ7.5mm深さ60mm以上
- ・プラグ取付穴：φ6mm以上深さ50mm以上

お願い

【壁面に補強木が取り付けられない場合】

取付壁全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。【建築工事】

化粧台の確認

⚠ 警告

ミラーキャビネットは平らな壁面に取り付ける。

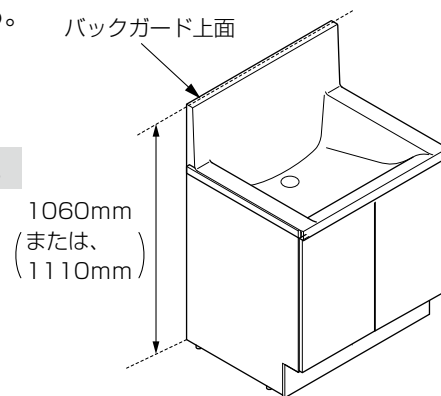
※ 窓などの開口のある部分や壁面から隙間をあけて取り付けるとホコリなどの堆積や、使用される方がミラーキャビネット裏の配線に手を触れることで火災や感電の恐れがあります。

洗面化粧台のバックガード上面 両端の高さが床面より1060mm または 1110mmであり、水平であることを確認する。

【水平が出ていない場合】

洗面化粧台の取付説明書を確認し調整する。

※水平が出ていない場合、ミラーキャビネットも水平に設置できません。



【直結配線タイプの場合（品番末尾「G」）】

取付前の準備

コンセント取出し

※ 確実に行ってください。
後回しにすると作業のやり直しになります。

⚠ 注意

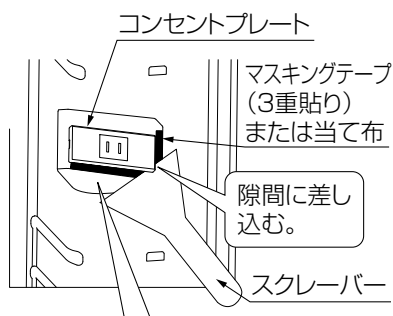


接続されている配線は抜かない。

● キャビネット内右側のコンセントを外す。

(1) 内部コンセントプレートを取り外す。

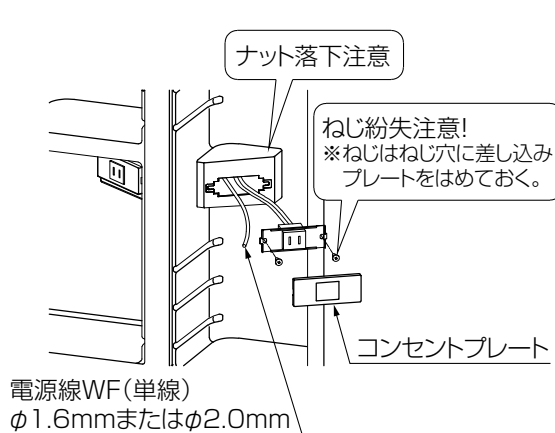
※ 必ず右収納側のコンセントで接続してください。



(2) コンセントを取り外す。



(3) 電源線を取り出す。



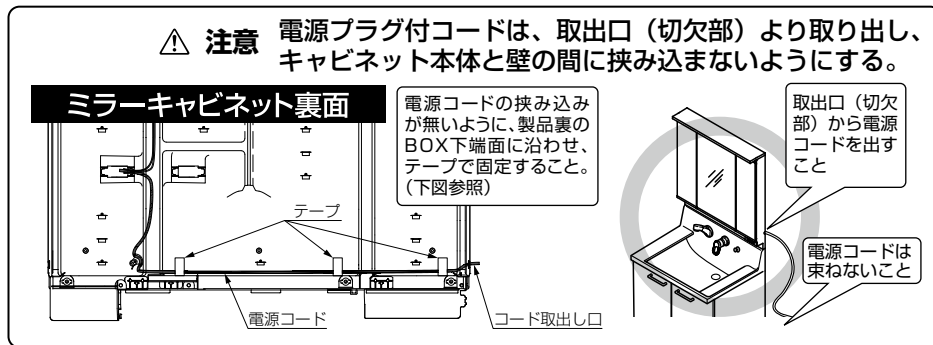
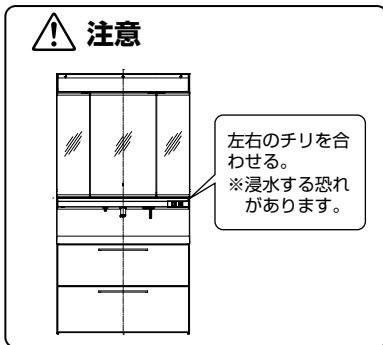
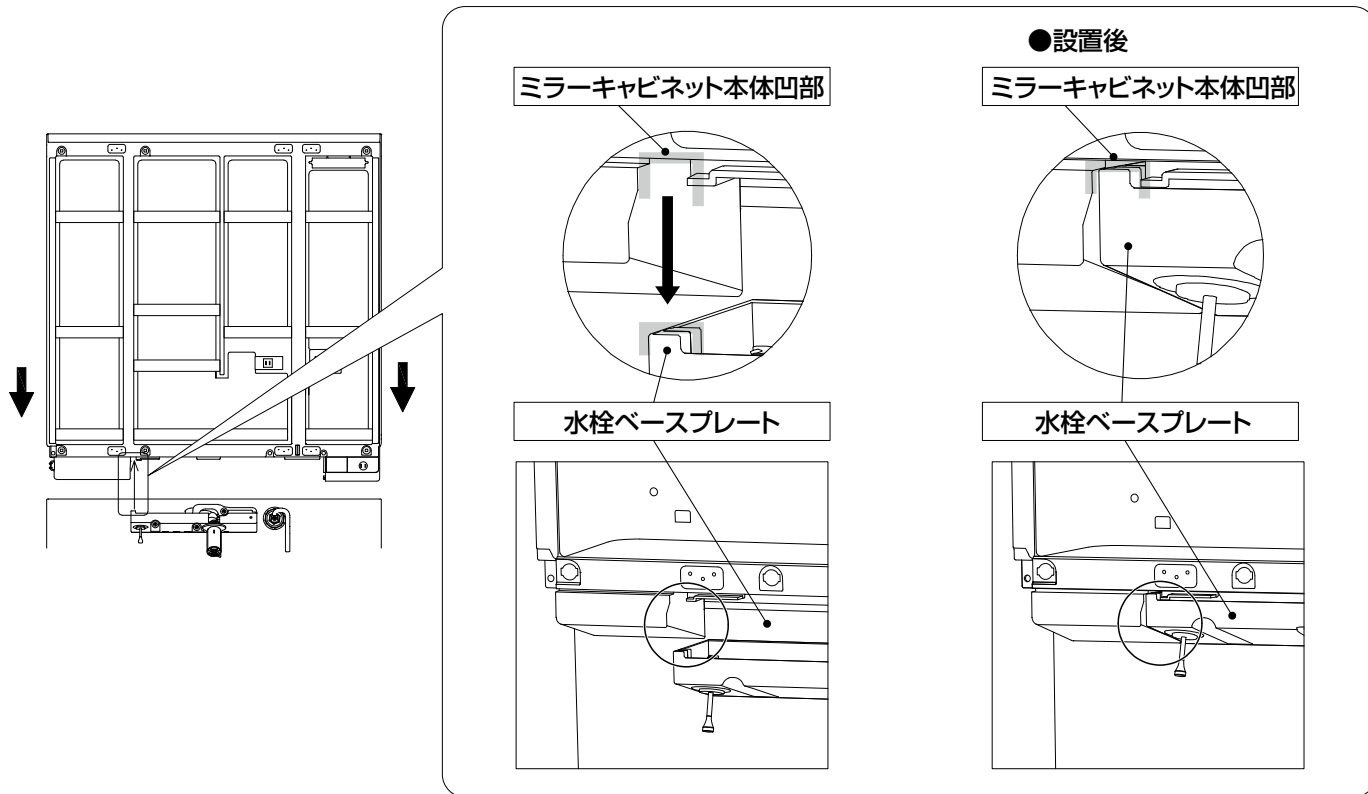
※ プレートを外す際は、キャビネットにキズがつかないように、当て布またはマスキングテープ(3重貼り)等で作業してください。

11 ミラーキャビネットの取付け

① バックガード上面にミラーキャビネット本体を設置する。

- ※ミラーキャビネット本体の切欠部から電源コードを出してください。
- ※水栓ベースプレート左端部の凸部をミラーキャビネット本体側の凹部に沿わせるように設置してください。

注意 取付前に鏡扉開き止めテープを剥がさない。

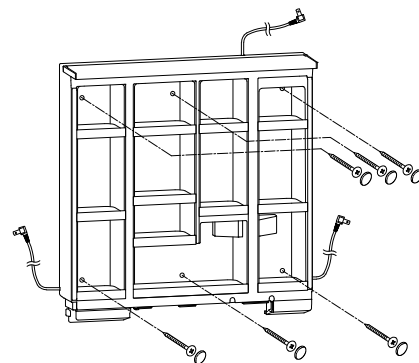


② ミラーキャビネット本体を壁にねじ固定し、化粧キャップを取り付ける。

※トレイを傷つけないよう注意してください。

LED照明

間口	750	900
平頭φ4.5X60mm	4本	6本
化粧キャップ	4個	6個



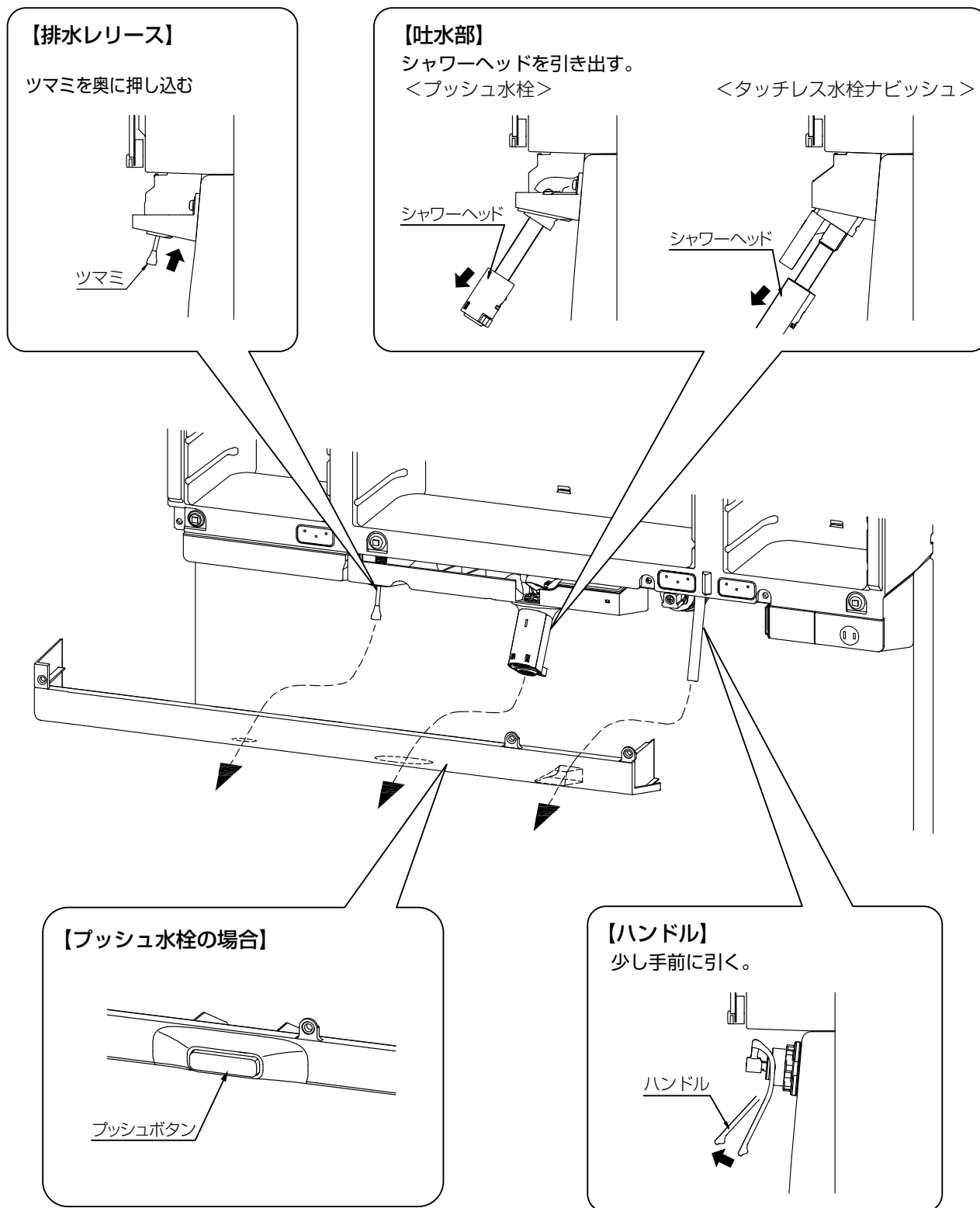
12 水栓パネルの取付け ※水栓パネルは化粧台に同梱



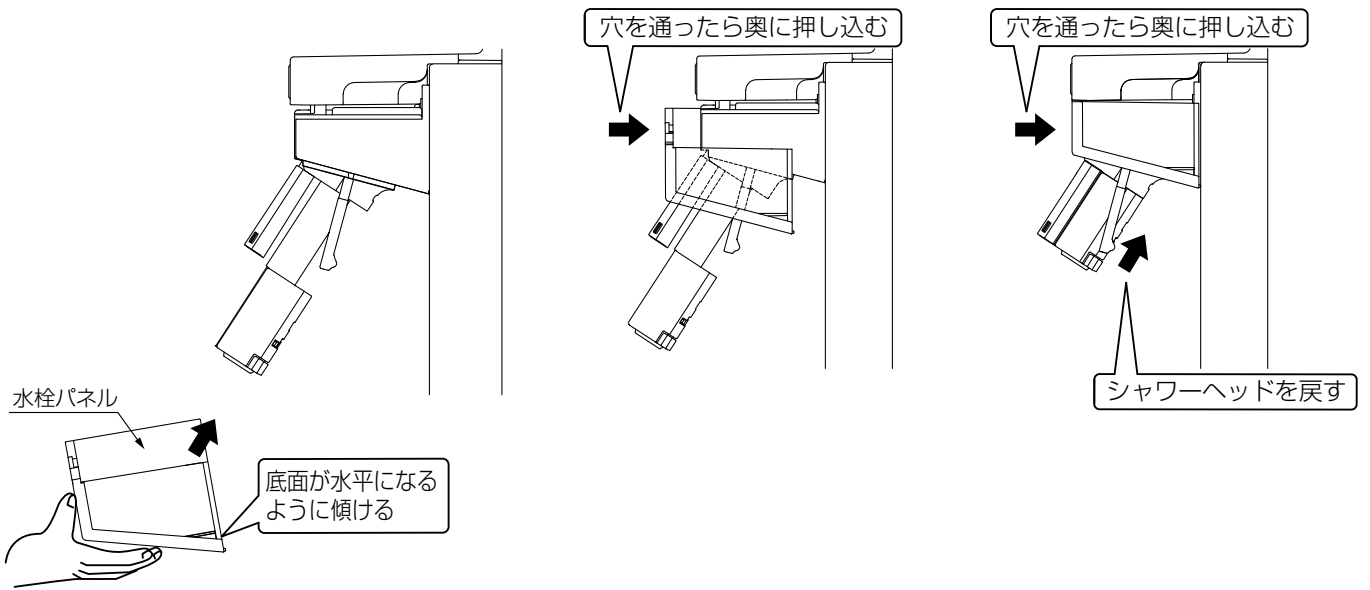
水栓パネル取付動画はこちら→

① 水栓パネルを取り付けるための前準備を行う。

※鏡扉を開いた状態で行ってください。

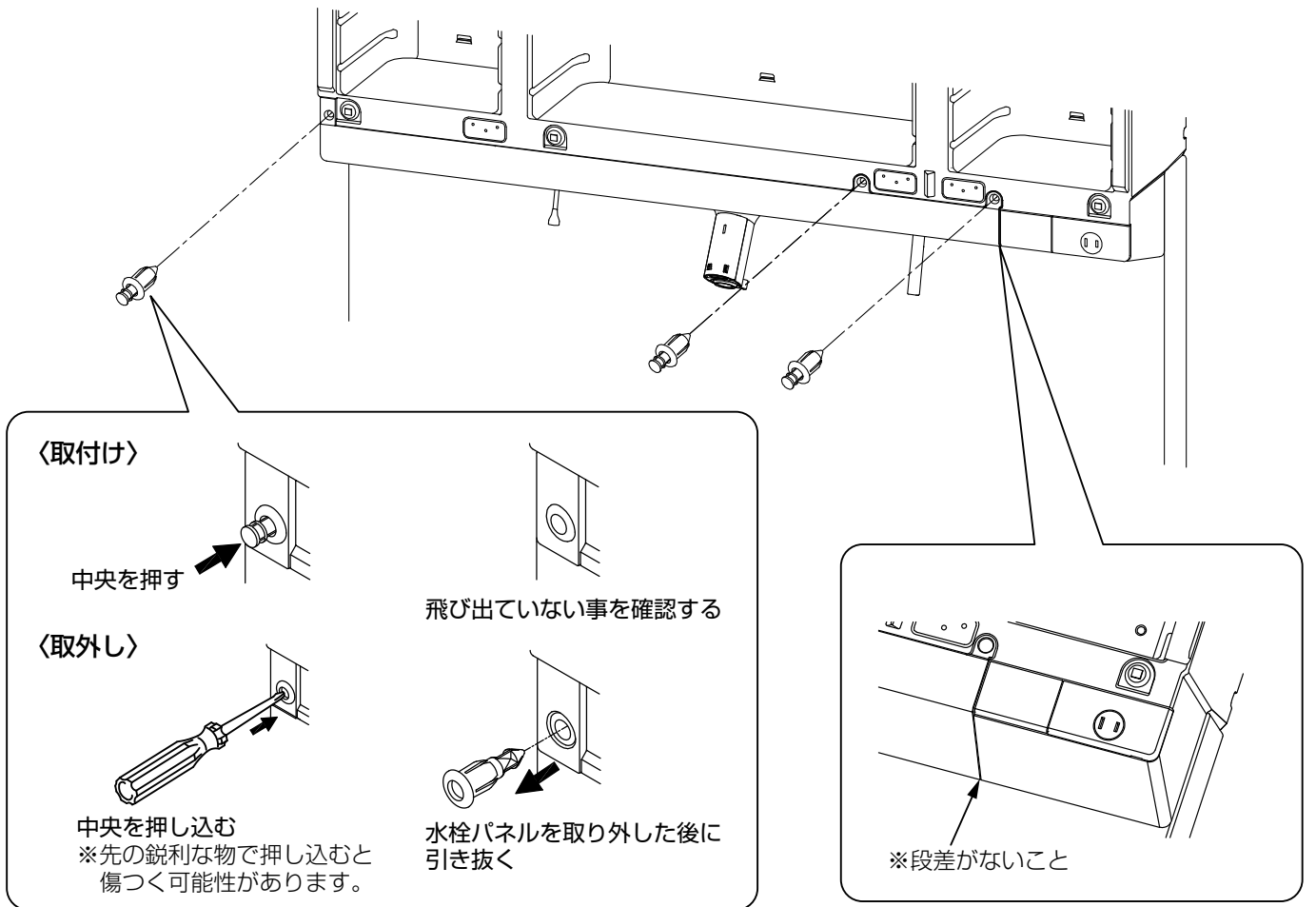


② 水栓パネルの穴に各部を通しながら取り付ける。



③ リベットの固定

※本体と水栓パネルの取付穴3ヶ所が一致すること、矢印部分の段差がないことをご確認ください。



化粧台の取付説明書へ戻り、続きの作業を行ってください。

直結配線の方法

電気工事

警告

●電気工事は電気設備に関する技術基準、内線規程など関連する法令・規定に従って必ず電気工事士の資格を有する者、電気工事事業の登録等をした業者が適切な方法で行う。

※無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電の原因となります。

●標準タイプの電源プラグ付コードの切断や取り外しをして直接配線をしない。

※不適切な接続は火災、漏電、故障の恐れがあります。

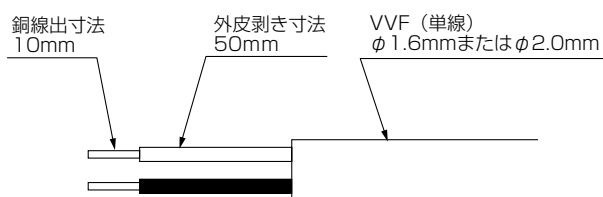
※標準タイプから電源プラグ付コードを取り外すと、渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。

※直結接続の場合は、必ず直結配線タイプにて接続をしてください。

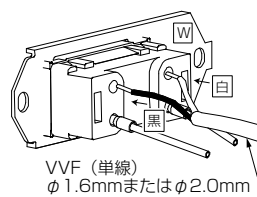
電気工事

直結配線タイプの場合（品番末尾「-G」）

① 電源線が取り出されていることを（P7参照）確認し、以下のように加工する。



② 電源線をコンセントの裏側に差し込む。



先端が奥に当たるまで
しっかり差し込んで
ください。

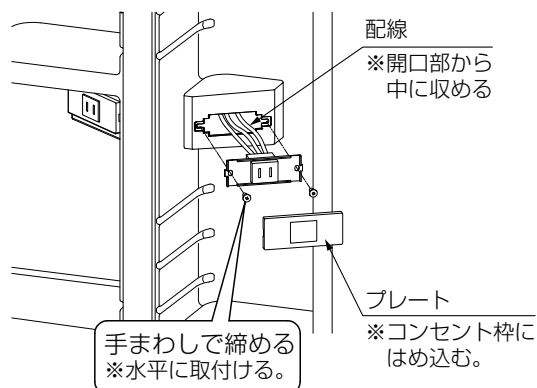
※一本ずつ軽く引っ張り、抜けないことを確かめ、接続に間違いがないか確認してください。

③ 配線を中心に収め、元通りに取り付ける。

※電源線が長すぎて収まらない場合

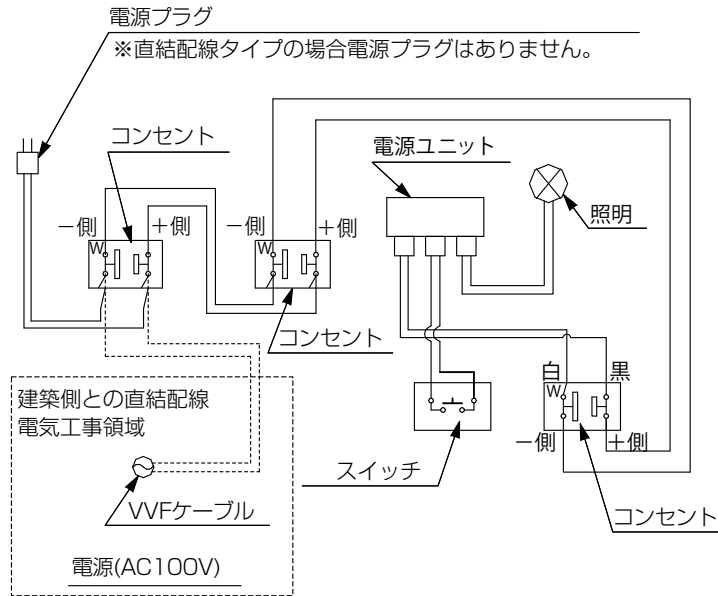
コンセントから電源線を抜いて適切な長さに切断し、加工し直してください。

※無理に配線を収めると配線が曲がり発熱、発火の恐れがあります。



配線図

<3面鏡 (LED照明) >



取付後の確認

■ キャビネット本体の確認

- 固定ねじが十分に締まっていること。
- ガタツキ・壁とキャビネットに隙間がないこと。
- ミラーキャビネットと化粧台バックガード部に隙間がないこと。

■ トレイの確認

- ガタツキなく、取り付けられていること。

■ 照明の動作確認

- 照明が点灯すること。
※スイッチボタンを押して点灯および消灯することを確認してください。

お願い

商品についた汚れは、柔らかいきれいな布で拭きとるか、水拭きしてください。

■ 鏡扉の確認

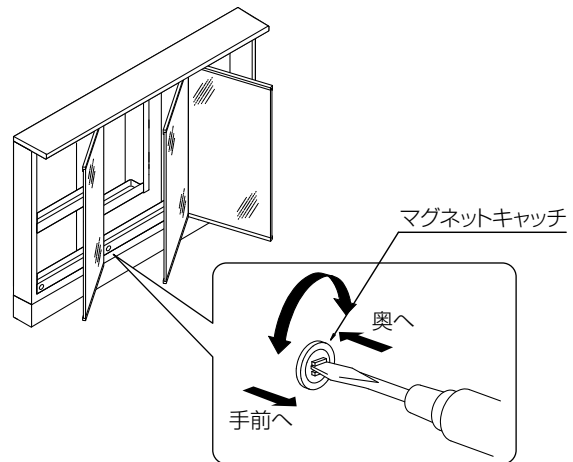
- 左右の鏡扉に段差がないこと。
※段差がある場合は、必ずマグネットキャッチの調節を行い、鏡の前面を合わせてください。

[マグネットキャッチ調節方法]

マイナスドライバーで調節する。

- ・手前に出す場合…左に回す
- ・奥に入れる場合…右に回す

※コード線の挟み込みがないか確認してください。



MEMO

